



家伝漢方薬

立花振薬

第2類医薬品

立花振薬は嘉永元年より婦人薬として使用され、現在に至る振薬です。近年になり、その効能効果の素晴らしさが改めて評価されるようになりました。男女を問わず、冷え性で貧血の傾向があり、何となく元気がなく疲労しやすい方、また、婦人病に特有の頭重、下腹部痛、耳鳴り、めまい等の不快な症状を改善します。

〈成分・分量(1包中)〉

日局 トウキ(当帰)…………… 3.0g	日局 ブクリョウ(茯苓)…………… 4.0g
日局 センキュウ(川芎)…………… 3.0g	日局 ビャクジュツ(白朮)…………… 4.0g
日局 シャクヤク(芍薬)…………… 4.0g	日局 タクシャ(沢瀉)…………… 4.0g

〈効能または効果〉

比較的体力が乏しく冷え性で貧血の傾向があり疲労しやすく、時に下腹部痛、頭重、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴える次の症状
月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前・産後あるいは流産による傷害(貧血、疲労、倦怠、めまい、むくみ)、めまい、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え性、しもやけ、むくみ、しみ。

〈用法・用量〉

(1日分)に熱湯180mlを注ぎ、振り出すこと2回、3回目は360mlの熱湯を注ぎ、半量くらいに煎じて服用してください。

〈使用上の注意〉

- 次の方は服用前に医師または薬剤師に相談してください。
 - 胃の弱い方。
 - 今までに薬による発疹、発赤、かゆみ等をおこしたことがある方。
 - 現在医師の治療を受けている方。
- 服用に際しては、定められた用法・用量を厳守してください。
- 1ヶ月間ほど服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。
- 保管上の注意
 - 小児の手の届かないところに保管してください。
 - 直射日光を避け、湿気が少なく涼しいところに保管してください。
 - 誤用を避け、品質を保持するためにも、他の容器に入れ替えないでください。

製造販売元

株式会社 田尻300年製薬

〒869-0238 熊本県玉名市岱明町開田329-1